

ID No.	237		
研究課題名	リンパ管形成における Foxc2 遺伝子と Tbx1 遺伝子の発現細胞系譜の関係		
研究代表者	三浦 直行 (浜松医科大学・教授)		
研究組織			
受入教員	吉田 進昭	(東京大学医科学研究所・教授)	
研究分担者	青戸 一司	(浜松医科大学・助教)	
	Mohammad Uddin	(浜松医科大学・大学院生)	
研究報告書			
リンパ管、静脈、動脈形成にはFoxc2遺伝子およびTbx1遺伝子が関与している。しかし、Foxc2遺伝子発現細胞とTbx1遺伝子発現細胞の関係が明らかにされていない。そこで遺伝子発現細胞をモニターすることができるDual reporter systemの開発により、両遺伝子発現系譜細胞の時間的・空間的な相互関係を明らかにする。申請者三浦直行教授はFoxc2とTbx1のダブルレポーターシステム開発のため、Foxc2とTbx1の遺伝子座位にそれぞれCreERT2とFLPeERT2 cDNAをノックインするためのターゲティングベクターの作製を進めた。Tbx1-FLPeERT2の作製は上手く行かなかったが、Foxc2-CreERT2はノックインマウスの作出に成功した。現在このマウスを用いてリンパ管、静脈、動脈形成、心臓形成、顎顔面形成においてFoxc2発現系譜細胞を確認している。			